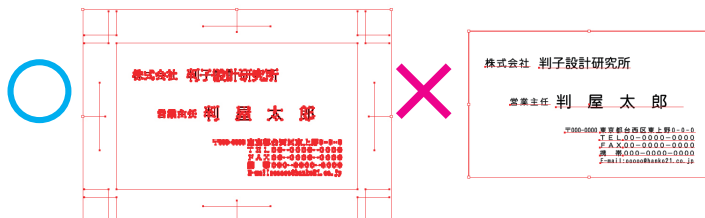


データ入稿の注意

外注印刷でのデータ入稿するときの注意です

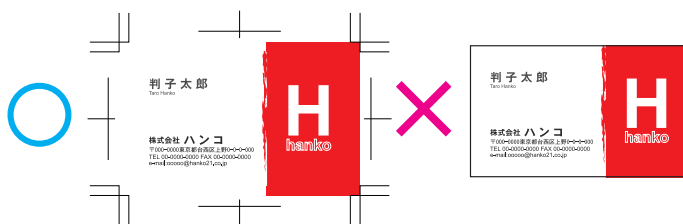
●使用フォントのアウトライン化

文字はフォントというファイルを使用して入力しますが、完成したそのイラストレータファイルを別の誰かのパソコンで開くには、同じフォントが無ければ正確に画面に表示されません。印刷会社にイラストレータファイルを入稿する場合は、必ず全てのフォントをアウトライン作成してください。アウトライン化されていないと対応フォント以外は、ほとんどの場合再度入稿という事になり、納期が伸びてしまいますのでご注意ください。



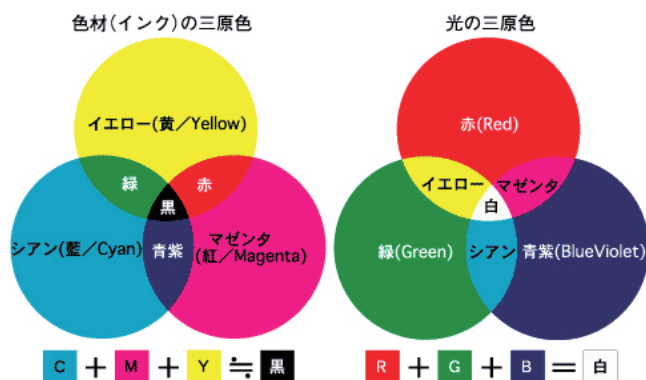
●塗り足しを付けてください

『断裁』では切り落とし位置に微妙なズレが必ず生じます。そこで『塗り足し』が必要になってきます。『塗り足し』とは仕上がりサイズよりも 3mm 程度はみ出すようにデータを作成することです。このように『塗り足し』を付けることで白地が見えずに綺麗に断裁することができます。



●CMYK以外の色は使用しないでください

RGB カラーと CMYK カラーは、それぞれ表現できる色の範囲が異なり、RGB に比べ CMYK では狭くなってしまいます。印刷物は C (シアン) M (マゼンタ) Y (イエロー) K (ブラック) の4色のインキで表現します。つまりは CMYK カラーで表現されますので、RGB カラーで作成されたデータは CMYK カラーで最も近い色に置き換えられてしまうために色味が変わってしまいます。これによりイメージされた色と大きく異なった色で出力されます。(一般的にくすんだ感じになります。)リンク画像なども含め、必ず CMYK カラーでご入稿下さい。



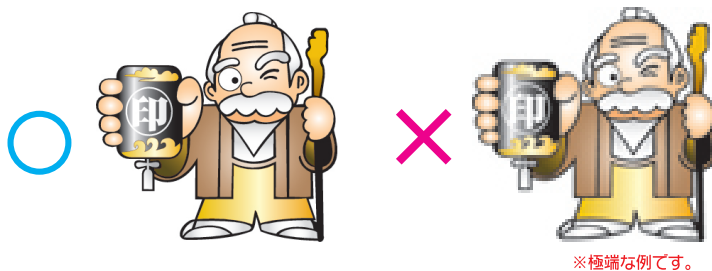
●インクジェットプリンタとは出来上がりの色が異なります

オフセット印刷と家庭用プリンタでは仕上がりが異なります。ご家庭用のプリンタはプリンタごとに色の設定やインクの色数等が異なるため、機種によって印刷されてくる色の仕上がりが異なります。またパソコンのモニターも RGB カラーのため、モニター画面の色と出力した印刷物の色味が異なるのはこのためです。



●画像の適正解像度について

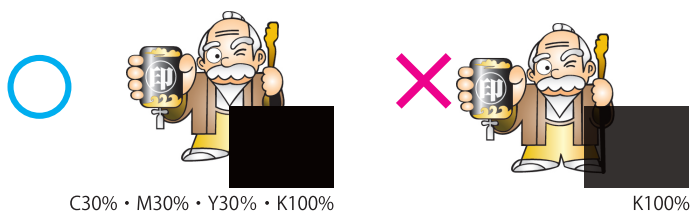
解像度 (dpi) は、デジタル画像のきめの細さを指しています。よく間違われる例として、インターネットでキレイに見える画像をそのまま印刷にも使えようと思い、デザインに使用される方がおられます。しかし、WEB 用の画像は 72dpi でスクリーン解像度といい、モニター表示に最適な解像度ですのでキレイに表示はされますが印刷すると粗くなってしまいます。入稿データに使う画像解像度は 350dpi を目安としてください。(2 階調のデータは 1200dpi を目安としてください。)



※極端な例です。

●スミベタ (リッチブラック) について

K (黒) 以外の色を足すことで、「背景色が透けてしまう」「色が薄い」等の問題を回避することが出来ます。しかし、インキを多く乗せるため乾きが非常に悪くなります。また裏写りの原因にもなりかねません。そこで C・M・Y・K すべてを 100% にするのではなく、C30%・M30%・Y30%・K100% のように設定してください。スミベタ (リッチブラック) をご利用の場合は、フルカラー印刷扱いとさせていただきます。あらかじめご了承ください。



C30%・M30%・Y30%・K100%

K100%
※極端な例です。